



保護者アンケートによる「学校評価」について (3)

学校長 小木曾敏樹

0 全体として

- 全体として「A」が減少、「B」が増加、「A・B」の肯定的な評価はほぼ変化なしという傾向です。
- 「C」、「D」という否定的評価については、多くは特定の方による評価でした。
- 記述がない項目が多いため、具体的な回答ができないことをご理解ください。
- 回答数が少ないため、お一人の評価が、「0.6%」となります。

評価について

A 大変よかった B よかった C あまりよくなかった D よくなかった

昨年度評価との比較



向上



やや向上



ほぼ同じ



やや低下



低下

14 学校は、対話的な学習、体験的な学習を重視し、児童に感動ある学習活動を行っている。

↓ A 38.9 B 60.5 C 0.0 D 0.6

・記述なし

◎校外に出かけていく学習や校外からの講師を招いて行う学習など、体験やふれあいを重視し学習活動を考えてきました。また授業では、学習したことを自分の言葉で言語化し定着を図ることや、ペアやグループで意見を交流する、みんなの前で発表やプレゼンをするなど、自らアウトプットする学習活動を、全校で大切にして取り組んできました。言語化することで思考を深め、対話や発表をすることで、論理的思考力やコミュニケーション能力を高め、生きる力、生き抜く力の育成に努めたいと考えます。今後も対話的・体験的学習を大切にして、感動ある学習活動を追求していきたいと考えています。

15 学校は、全ての教育活動を通して、確かな人権意識を身に付けさせる人権教育を行っている。

↓ A 26.8 B 69.4 C 3.8 D 0.0

・記述なし

◎本年度も岐阜県教育委員会から「人権教育賞」を受賞し、これで4年連続の4回目の受賞となりました。人権集会といった単発のものではなく、毎日のお昼の放送や、全校掲示や、各学級の帰りの会など、日常的な人権教育活動を行っていることが評価されました。いじめ・差別はいつの時代もどんな集団でも起きうるものです。南小学校では、いじめ防止基本方針に則り、された側がいじめだと感じたらいじめ事案として調査し指導をしています。ゆたかな人間関係を醸成させるためのエンカウンターや異学年集団での活動、福祉学習やボランティア体験などをとおして、よりよい人権感覚と実践力を養っていききたいと考えています。

16 学校は、発達段階に応じた成長を促すため、運動会等の行事や特別活動を工夫し実施している。



A 36.3 B 60.5 C 3.2 D 0.0

・記述なし

◎職員は60%近くが「A」と自己評価しています。行事を簡単にしたり、減らしたり、毎年例年通りにすれば職員の負担はかなり減ります。また、子どもたちが企画運営に大きく関わることなく、職員が全て段取りし、子どもたちに指示すれば、その方が楽に事が運び、お互いに楽しめます。子どもの成長にとって何が必要か、どんな取組が効果的か、職員はどこまで手を貸しどこまで任せどこまで指導するか・・・こんなことを何時間もかけて計画し行事を行っています。他校では行っていない「歌声交流会」や「南小大冒険」、他校よりも回数も多く内容も濃い「命を守る訓練」や「交通安全・登下校指導」、これらは南小学校としてこだわって行っている行事や特別活動で、職員はその取組を自負しているところです。今後も子どもたちの成長のため、創意工夫し行っていきたいと思います。

17 学校は、学校報「南校だより」や学級学年通信、ホームページなどを通して、家庭や地域に学校の様子や情報を伝えている。



A 57.3 B 41.4 C 1.3 D 0.0

- ・ホームページの写真をみると学校で何が行われているのかよくわかり、親としては大変ありがたいですし、学年通信がなくても話題にできて、先生方の働き方改革にもつながっていると思います。通信というと先生方の負担も増すので、連絡事項として、低学年では持ち物や宿題の連絡があると助かります。
- ・ホームページはいつもみています。学校の様子がわかるので大変よいです。
- ・学級、学年通信が少なく情報があまり得られなかった。特に家庭で準備して学校で持っていくものがある場合は都度通信等でお知らせがほしい。通信が間に合わないなら一斉メールなどで知らせてもらえば良いと思う。

◎ホームページについては、多くの皆さんに見ていただきうれしく思っています。あるお母さんは、毎日寝る前に子どもと一緒に見ていろいろと話すのが日課になっていますと話してくださいました。ホームページの写真をみて、お子さんとの会話のきっかけにさせていただくのが、私の目的です。お子さんやご家族での会話を弾ませるようご活用いただけたらうれしく思います。

◎令和5年度4月から9ヶ月間の総アクセス数は、25万回になります。3月までの1年間で30万回は超えると予想されます。ちなみに市内小中学校の平均は約3万回で、2番目に多い学校が8万回となっています。学校規模が大きければ閲覧者数も増えるので、平均はあまり参考にはなりません。9ヶ月間にアップしたページ数は、566ページです。市内小中学校の平均は77ページで、2番目に多い学校が261ページとなっています。取り上げる場面を多くして、多くの写真を見ていただく方がいいと考え、文面は短く、写真を主にしています。

◎南小学校の児童や保護者の方だけでなく、地域の方も見てくださっていると聞き、地域の学校として、学校の可視化に少しは効果があったかと考えています。他校の児童が南小学校のホームページを見て、自分たちもこんな学習をしたいと学校に話して、それを実際に行うことになったという話も聞こえてきました。

◎ご意見にもありましたが、職員の働き方改革もこのホームページの目的の一つです。学年通信や学級通信を作成しなくてもいいように、ホームページから情報発信しています。職員の時間外勤務時間を効果的に減らすことはできず、土日の休日出勤をしている職員、午後10時近くまで勤務する職員もいるのが現状です。ホームページによって、私の時間外勤務時間は増えています（笑）

◎ご指摘のとおり、持ち物や学習指示などについては、確実にご家庭に伝わるよう、通信、メールなどを使ってお知らせできるよう職員と確認します。

◎来年度、新たなメールのシステムに変わります。また、新たにPTA携帯からLINEアプリでの連絡も考えているところです。